

(議員用)

令和4年4月28日

宝塚市議会議長 様

議員名 大川 裕之



平成3年度 政務活動費収支報告書

宝塚市議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項の規定に基づき、下記のとおり、平成3年度政務活動費に係る収入及び支出を報告します。

記

1 収入 政務活動費 912,000 円

2 支出

科 目	金 額
研究・研修会費	- 円
調査費	- 円
広報費	431,970 円
広聴費	- 円
要請・陳情活動費	- 円
資料作成・購入費	- 円
人件費	8,150 円
事務費	- 円
合 計	440,120 円

3 残 額 471,880 円

支 出 内 訳 書

科 目	内 訳	
研究・研修会費 (0 円)	(1) 会場費 (2) 講師謝金・旅費 (3) 出席者負担金・会費 (4) 旅費 (5) 交通費 (6) その他	- 円 - 円 - 円 - 円 - 円 - 円
調査費 (0 円)	(1) 旅費 (2) 交通費 (3) その他	- 円 - 円 - 円
広報費 (431,970 円)	(1) 広報紙・報告書印刷費 (2) 送料 (3) 会場費 (4) その他	162,470 円 269,500 円 - 円 - 円
広聴費 (0 円)	(1) 交通費 (2) 会場費 (3) 印刷費 (4) その他	- 円 - 円 - 円 - 円
要請・陳情活動費 (0 円)	(1) 旅費 (2) 交通費 (3) 印刷費 (4) その他	- 円 - 円 - 円 - 円
資料作成・購入費 (0 円)	(1) 資料作成費 (2) 翻訳料 (3) 書籍・新聞等購入代 (4) その他	- 円 - 円 - 円 - 円
人件費 (8,150 円)	(1) 賃金	8,150 円
事務費 (0 円)	(1) 文房具代 (2) 備品費 (3) 電話料 (4) その他	- 円 - 円 - 円 - 円



(会派名または議員名 大川 裕之)

## 政務活動費支出書

支出科目	広報費	内 訳	広報紙・報告書印刷費	支出番号	1
支 出 日	令和3年5月25日		支出金額	162,470 円	
支 出 先	(株) プリントパック				
支出内容	市政報告「Report17」印刷代 70,000部				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

# 領収書

2021年05月25日

宝塚市議会議員 大川裕之 御中

平素は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。  
下記の金額正に領収いたしました。  
何卒よろしくお願い申し上げます。

株式会社プリントパック  
〒617-0003  
京都府向日市森本町野田3-1  
TEL 0120-977-920  
FAX 075-935-6890



お支払条件 クレジットカード 納品場所 ご指定場所

御請求金額 162,470円 (税込) 納品期日 4営業日

ご注文番号	内 容	数量	単 価	金 額
PAC26315703	品名 : Report_17 A4 / 両面4色 / コート90 / 70,000部×1種類 / 加工1 : Z折り 加工2 :	1	162,470	162,470
合 計				162,470

## 特記事項

※クレジットカード決済の場合には、金銭または有価証券の受領事実がありませんので、表題が「領収書」となっていますが、  
印紙税法基本通達第17号の1文書には該当しません。  
※5万円を超えていても収入印紙は貼付されません。



からつか卓政会

塚市議会議員（3期目）

おおかわひろゆき

大川裕之

## 「運営」から「経営」へ。

「令和」の課題を、「平成」のシステムと  
「昭和」の発想で解決しようとする宝塚市役所。  
そのシステムと発想を「令和の先」へと転換するのが  
「これからの行財政運営」＝「行財政経営」です。

昭和49年9月26日生まれ（46歳）。家族は妻と子ども3人（大2、中1、小4）。  
大阪府立高津高校／大阪大学 工学部／東京都庁／関西学院大学大学院 総合政策研究科。  
東京都では多摩ニュータウンのまちづくりを担当。2019年の宝塚市議選で3期目当選。  
まちづくり、行財政改革、教育、公共施設やインフラの更新問題、民間活力導入に取り組む。

行財政経営に関する調査特別委員会が設置され、  
前回に引き続き、委員長に就任。

平成29年6月、50億円を超える財源不足が発表されたため、議会は即座に行財政改革特別委員会を設置しました。私は委員長に就任し、2年に及ぶ委員会で議論した結果、何とか財源不足を回避しました。

しかし、令和2年3月の財政見通しで、またしても60億円を超える財源不足が発表され、市では宝塚市行財政経営戦略本部が発足しました。これを受けて、議会側も行財政経営に関する調査特別委員会を設置し、再度、私が委員長に就任しました。今後、1年以上に渡り、13名からなる特別委員会で行財政経営に関して議論を行います。そして、この特別委員会の運営を設計していくことが私のミッションです。

「財政再建」と「運営から経営へ」がテーマ。

今回の特別委員会では、60億円を超える財源不足を解消するための議論を行っていきます。しかし一方で、事業を廃止・縮小することで収支の帳尻を合わせようとする「減量型行革」はあくまで対処療法であって、将来を見据えた本質的な改革にはつながらない、持続可能な行財政とはならないとの危機感も持っています。そのため、大幅な事業見直しを行っていくこの時期に、その事業の意義や目的を持続的に検証・見直しができるシステムの構築と、デジタル化を進めるなど時代に合わせた形で効率的にサービスを創造できる組織への転換を図る必要があると考えています。つまりは、「財政再建」と「運営から経営への転換」を同時に行うことが今回の特別委員会のテーマです。そこで、これら2つのテーマを同時に扱い、かつ機動的に議論ができるように委員会に2つの分科会を設置しました。「財政再建」を担当する第1分科会は、これまでの経緯も踏まえて、より深く議論できるよ

うベテラン議員が中心となり、「経営への転換」を図る第2分科会は将来を見据えた議論をおこなうため、若手議員中心の構成としました。分科会では、市側への質疑応答中心の運営ではなく、議員間でのディスカッションや職員や市民を交えてのワークショップなど、これまでとは違う新しい手法を取り入れたいとも考えています。質問するだけの議会ではなく、自ら考え、議論し、答えを導き出せる議会へと変わっていかねばなりません。私たち市議会も、新たなステージへと踏み出す時期が来ています。

財政難は行政課題の同時多発テロとその対策の貧弱さが招いた結果です。

先の市長選挙においても、財政難は大きな争点でもありませんでした。しかし、その「正体」を把握している候補はおらず、的外れな対策を掲げていました。新市長などはその最たる例です。さすがに市立病院の資金不足や公共施設・インフラの老朽化問題など、同時に勃発している「行政課題」については全員認識されていました。しかし、これらは10年前から問題視されてきた課題で、より重要なのは課題そのものというより、これらが小さな火種のうちに、対策を講じてこなかったという事実なのです。つまり、課題を認識しながらも、先送りし続けてきた体質に、より本質的な問題があり、不足している資源は「お金」以上に、「時間」と「人材」であると認識しなければ、抜本的な改革は期待できないのです。

「令和」の課題を「平成」のシステム（＝仕組み）と「昭和」の発想（＝考え方、スピード感）で解決しようとしているのが宝塚市役所だと認識するところからスタートすべきです。

同時多発テロのように、火を吹き始めた様々な行政課題に対応するための「時間」と「人材」の確保が急務であり、今ある資源のアロケーションがまず第一手で、そのために顧客視点から行政のあり方を見直すことが最も重要なのです。

# まちづくりを再定義する

皆さんは、役所の仕事や提供するサービスが杓子定規で物足りないと感じたことはないでしょうか。他市では図書館やスポーツ施設など、民間企業のサービスと組み合わせることで市民の満足度が向上している事例が多く見受けられます。これは、市民に喜ばれる価値とは何かを追求し、行政サービスのあり方を再度、定義し直した結果から生まれたものです。前例踏襲主義

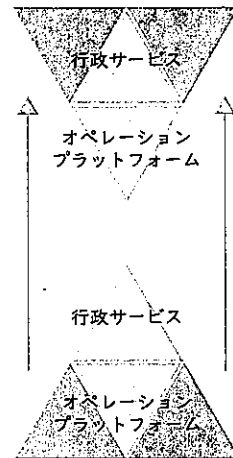
や役所視点では生まれないものです。宝塚市がこれから進める新たな行革においても、収支面での帳尻合わせで事業の改廃を検討すると、「陳腐化による結果的無駄遣い」や「効率化とサービス向上の両立」といった視点が無くなる恐れがあります。私が目指す「行政経営」への移行は、まちづくりに「顧客視点に立った再定義」を取り入れるところから始まります。



# ヒト・モノ・カネを再配分する

いわゆる行政の無駄遣いは、事業の内容というよりも、仕事の進め方にある場合が多いです。会議のための資料づくりや計画づくりに力を入れる一方、それにより出来上がった行政サービスはそれほどでもない...というのはよくある話です。サービスの土台となるオペレーションやプラットフォームにヒト・モノ・カネの資源が投入されすぎており、そこをデジタル化

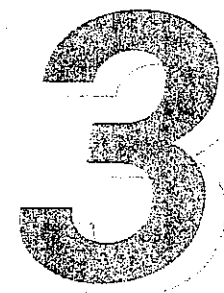
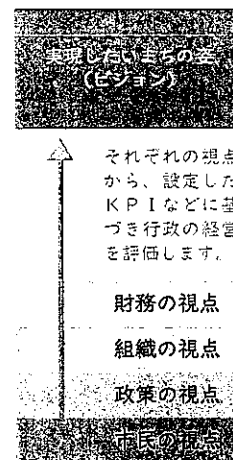
などにより効率化、共通化できれば、総額を変えずにサービスへと資源を振り替えることができます。また、まちづくりの再定義により事業全体を見直すことで、民間企業のプラットフォームやサービスを利用し、効率化を進めることも可能です。令和の新時代において、いつまでも前時代のやり方を踏襲しているのは、財政収支の悪化にも、時代の変化にも対応できません。



# データに基づき再評価する

2040年、団塊ジュニア世代が高齢化し、高齢化率はピークに達します。また、現役世代は関西圏で300万人も減少すると予測されており、人々の生活の形も変化していきはすです。それに合わせて行政も、課題=政策だけではなく、行政のあり方や組織の形も変化させねばならず、着実に改革を進める必要があります。そのためには、成果や進捗をデータに基づ

いて評価すること、評価・改善するサイクルをスピード感を持って回していくことの両方が重要です。議会では、政策に対して、成果で評価する方法を模索しているのが現状ですが、それに加えて目指すべき財務や組織にどれだけ近づけているのかなど、総合的に評価し、同じ認識に立った上で様々な市民の視点から議論する体制を構築すべきと考えています。



Back  
Number

これまでの市政報告はWeb-siteからご覧いただけます。



(会派名または議員名 大川 裕之)

政務活動費支出書

支出科目	広報費	内 訳	送料	支出番号	2
支 出 日	令和3年5月31日		支出金額	269,500 円	
支 出 先	(株) インプレス				
支出内容	市政報告 (支出書No1) ポスティング料 70,000部				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

領 収 証 宝塚市議会議員 様 No. 182057  
大川 裕之

★ 金 269,500-  
但 ポスティング料

2021年 5月 31日 上記正に領収いたしました

訳



税抜金額

消費税額等( %)

コクヨ ウケ-55

〒653-0843 神戸市長田区御屋敷通1丁目1-20

株式会社 インプレス





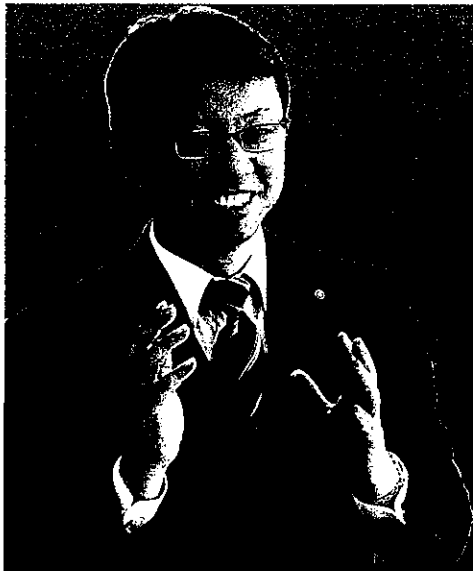


チラシ名	大川裕之
------	------

配布種別	配布開始	配布完了	受注総数
軒並配布	6/4	6/28	70,000

特記事項	
------	--

エリアNO	依頼数	配布数	配布日	備考
合計	70,000	70,000		
宝塚市-01	1,370	1,370	6月22日	
宝塚市-02	1,300	1,300	6月22日	
宝塚市-03	780	780	6月26日	
宝塚市-04	1,430	1,430	6月26日	
宝塚市-05	1,760	1,760	6月10日	
宝塚市-06	950	950	6月21日	
宝塚市-07	1,470	1,470	6月26日	
宝塚市-08	1,510	1,510	6月26日	
宝塚市-09	1,380	1,380	6月10日	
宝塚市-10	1,540	1,540	6月26日	
宝塚市-11	1,380	1,380	6月21日	
宝塚市-12	1,260	1,260	6月4日	
宝塚市-13	1,270	1,270	6月18日	
宝塚市-14	2,070	2,070	6月18日	
宝塚市-15	1,410	1,410	6月26日	
宝塚市-16	70	70	6月21日	
宝塚市-17	1,010	1,010	6月10日	
宝塚市-18	910	910	6月10日	
宝塚市-19	1,260	1,260	6月26日	
宝塚市-20	1,380	1,380	6月26日	
宝塚市-21	1,290	1,290	6月26日	
宝塚市-22	900	900	6月10日	
宝塚市-23	1,910	1,910	6月21日	
宝塚市-24	1,010	1,010	6月26日	
宝塚市-25	2,510	2,510	6月28日	
宝塚市-26	1,010	1,010	6月10日	
宝塚市-27	960	960	6月10日	
宝塚市-28	2,010	2,010	6月19日	
宝塚市-29	1,610	1,610	6月19日	
宝塚市-30	1,260	1,260	6月21日	
宝塚市-31	1,150	1,150	6月15日	
宝塚市-32	1,260	1,260	6月8日	
宝塚市-33	1,260	1,260	6月19日	
宝塚市-34	1,410	1,410	6月21日	
宝塚市-35	1,710	1,710	6月15日	
宝塚市-36	1,290	1,290	6月8日	
宝塚市-37	1,480	1,480	6月15日	
宝塚市-38	1,410	1,410	6月15日	
宝塚市-39	1,010	1,010	6月28日	
宝塚市-40	1,010	1,010	6月15日	
宝塚市-41	1,610	1,610	6月22日	
宝塚市-42	1,570	1,570	6月21日	
宝塚市-43	1,060	1,060	6月15日	
宝塚市-44	1,210	1,210	6月15日	
宝塚市-45	1,560	1,560	6月5日	
宝塚市-46	1,510	1,510	6月5日	
宝塚市-47	1,580	1,580	6月5日	
宝塚市-48	1,470	1,470	6月5日	
宝塚市-49	1,000	1,000	6月5日	
宝塚市-50	1,000	1,000	6月5日	
宝塚市-51	940	940	6月19日	
宝塚市-52	700	700	6月15日	
宝塚市-53	820	820	6月15日	
宝塚市-54	1,000	1,000	6月15日	



からづか真政会  
塚市議会議員（3期目）

## おおかわひろゆき 大川裕之

### 「運営」から「経営」へ。

「令和」の課題を、「平成」のシステムと  
「昭和」の発想で解決しようとする宝塚市役所。  
そのシステムと発想を「令和の先」へと転換するのが  
「これからの行財政運営」＝「行財政経営」です。

昭和49年9月26日生まれ（46歳）。家族は妻と子ども3人（大2、中1、小4）。  
大阪府立高津高校／大阪大学 工学部／東京都庁／関西学院大学大学院 総合政策研究科。  
東京都では多摩ニュータウンのまちづくりを担当。2019年の宝塚市議選で3期目当選。  
まちづくり、行財政改革、教育、公共施設やインフラの更新問題、民間活力導入に取り組む。

行財政経営に関する調査特別委員会が設置され、  
前回に引き続き、委員長に就任。

平成29年6月、50億円を超える財源不足が発表されたため、議会は即座に行財政改革特別委員会を設置しました。私は委員長に就任し、2年に及ぶ委員会で議論した結果、何とか財源不足を回避しました。

しかし、令和2年3月の財政見通しで、またしても60億円を超える財源不足が発表され、市では宝塚市行財政経営戦略本部が発足しました。これを受けて、議会側も行財政経営に関する調査特別委員会を設置し、再度、私が委員長に就任しました。今後、1年以上に渡り、13名からなる特別委員会で行財政経営に関して議論を行います。そして、この特別委員会の運営を設計していくことが私のミッションです。

「財政再建」と「運営から経営へ」がテーマ。

今回の特別委員会では、60億円を超える財源不足を解消するための議論を行っていきます。しかし一方で、事業を廃止・縮小することで収支の帳尻を合わせようとする「減量型行革」はあくまで対処療法であって、将来を見据えた本質的な改革にはつながらない、持続可能な行財政とはならないとの危機感も持っています。そのため、大幅な事業見直しを行っていくこの時期に、その事業の意義や目的を持続的に検証・見直しができるシステムの構築と、デジタル化を進めるなど時代に合わせた形で効率的にサービスを創造できる組織への転換を図る必要があると考えています。つまりは、「財政再建」と「運営から経営への転換」を同時に行うことが今回の特別委員会のテーマです。そこで、これら2つのテーマを同時に扱い、かつ機動的に議論ができるように委員会に2つの分科会を設置しました。「財政再建」を担当する第1分科会は、これまでの経緯も踏まえて、より深く議論できるよ

うベテラン議員が中心となり、「経営への転換」を図る第2分科会は将来を見据えた議論をおこなうため、若手議員中心の構成としました。分科会では、市側への質疑応答中心の運営ではなく、議員間でのディスカッションや職員や市民を交えてのワークショップなど、これまでとは違う新しい手法を取り入れたいとも考えています。質問するだけの議会ではなく、自ら考え、議論し、答えを導き出せる議会へと変わっていかねばなりません。私たち市議会も、新たなステージへと踏み出す時期が来ています。

財政難は行政課題の同時多発テロとその対策の貧弱さが招いた結果です。

先の市長選挙においても、財政難は大きな争点でもありませんでした。しかし、その「正体」を把握している候補はおらず、的外れな対策を掲げていました。新市長などはその最たる例です。さすがに市立病院の資金不足や公共施設・インフラの老朽化問題など、同時に勃発している「行政課題」については全員認識されていました。しかし、これらは10年前から問題視されてきた課題で、より重要なのは課題そのものというより、これらが小さな火種のうちに、対策を講じてこなかったという事実なのです。つまり、課題を認識しながらも、先送りし続けてきた体質に、より本質的な問題があり、不足している資源は「お金」以上に、「時間」と「人材」であると認識しなければ、抜本的な改革は期待できないのです。

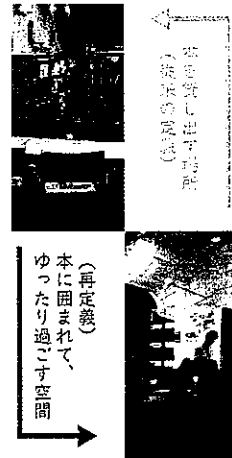
「令和」の課題を「平成」のシステム（＝仕組み）と「昭和」の発想（＝考え方、スピード感）で解決しようとしているのが宝塚市役所だと認識するところからスタートすべきです。

同時多発テロのように、火を吹き始めた様々な行政課題に対応するための「時間」と「人材」の確保が急務であり、今ある資源のアロケーションがまず第一手で、そのために顧客視点から行政のあり方を見直すことが最も重要なのです。

# まちづくりを再定義する

皆さんは、役所の仕事や提供するサービスが杓子定規で物足りないと感じたことはないでしょうか。他市では図書館やスポーツ施設など、民間企業のサービスと組み合わせることで市民の満足度が向上している事例が多く見受けられます。これは、市民に喜ばれる価値とは何かを追求し、行政サービスのあり方を再度、定義し直した結果から生まれたものです。前例踏襲主義

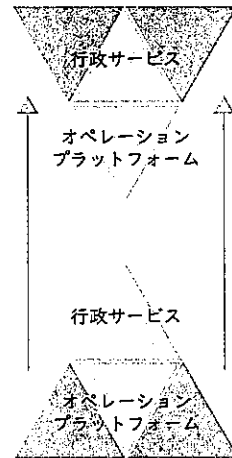
や役所視点では生まれないものです。宝塚市がこれから進める新たな行革においても、収支面での帳尻合わせで事業の改廃を検討すると、「陳腐化による結果的無駄遣い」や「効率化とサービス向上の両立」といった視点が無くなる恐れがあります。私が目指す「行政経営」への移行は、まちづくりに「顧客視点に立った再定義」を取り入れるところから始まります。



# ヒト・モノ・カネを再配分する

いわゆる行政の無駄遣いは、事業の内容というよりも、仕事の進め方にある場合が多いです。会議のための資料づくりや計画づくりに力を入れる一方、それにより出来上がった行政サービスはそれほどでもない...というのはよくある話です。サービスの土台となるオペレーションやプラットフォームにヒト・モノ・カネの資源が投入されすぎており、そこをデジタル化

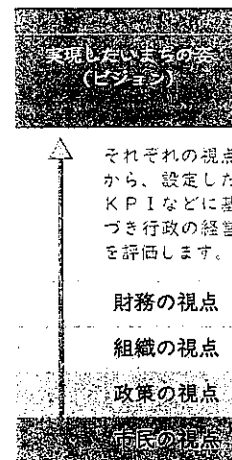
などにより効率化、共通化できれば、総額を変えずにサービスへと資源を振り替えることができます。また、まちづくりの再定義により事業全体を見直すことで、民間企業のプラットフォームやサービスを利用し、効率化を進めることも可能です。令和の新時代において、いつまでも前時代のやり方を踏襲しているのは、財政収支の悪化にも、時代の変化にも対応できません。



# データに基づき再評価する

2040年、団塊ジュニア世代が高齢化し、高齢化率はピークに達します。また、現役世代は関西圏で300万人も減少すると予測されており、人々の生活の形も変化していきはらずです。それに合わせて行政も、課題=政策だけではなく、行政のあり方や組織の形も変化させねばならず、着実に改革を進める必要があります。そのためには、成果や進捗をデータに基づ

いて評価すること、評価・改善するサイクルをスピード感を持って回していくことの両方が重要です。議会では、政策に対して、成果で評価する方法を模索しているのが現状ですが、それに加えて目指すべき財務や組織にどれだけ近づけているのかなど、総合的に評価し、同じ認識に立った上で様々な市民の視点から議論する体制を構築すべきと考えています。



Back  
Number


これまでの市政報告はWeb-siteからご覧いただけます。



(会派名または議員名 大川 裕之)

政務活動費支出書

支出科目	人件費	内 訳	賃金	支出番号	3
支 出 日	令和3年4月30日		支出金額	1,630 円	
支 出 先	[REDACTED]				
支出内容	4月分手当 浅谷議員と2分の1ずつとする¥1,630 原本は浅谷議員の支出書 No17に添付				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

4月分						
日付	開始	終了	時間	金額	交通費	支給額
4月5日	12:30	15:00	2.5	- 2,500	760	
						3,260
支払者代表確認		浅谷 亜紀 				

領 収 証

No. \_\_\_\_\_

たからづか真政会  
支払者代表 浅谷 亜紀 様

令和3年4月30日









★¥ 3,260-

但 4月分手当として

上記正に領収いたしました

内 訳	
税率	金額(税抜・税込)
%	消費税額等
税率	金額(税抜・税込)
%	消費税額等



供 覧	議 長	副議長	局 長	次 長	課 長	副課長	係 長	係	合 議
		 別紙様式	代 						

令和3年 4月 1日

宝塚市議会議長 様

議員名

浅谷 亜紀

大川 裕之



政務活動補助職員の雇用届

このたび、次の者を職員として雇用することになりましたので、下記のとおりお届けします。

記

1 住 所



2 氏 名



3 雇用期間

自 令和3年 4月 1日

至 令和4年 3月 31日



## 雇 用 契 約 書

1. 雇用期間 2021年4月1日～2022年3月31日
2. 勤務場所 宝塚市議会 たからづか真政会 議員控室
3. 職 種 一般事務
4. 職務内容 政務活動等に関する事務等
5. 勤務時間 原則として月曜日  
午後1時から5時の4時間とする。  
(但し、職務の都合により上記以外に勤務を命ずることがある。)
6. 勤務単価 時給 1,000円 (交通費は別途定める)

以上について確認し、双方1通ずつ保管する。

2021年4月1日

雇 用 者 たからづか真政会

大川 裕之



浅谷 亜紀



被雇用者

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_






(会派名または議員名 大川 裕之)

政務活動費支出書

支出科目	人件費	内 訳	賃金	支出番号	4
支 出 日	令和3年6月30日		支出金額	1,380 円	
支 出 先	[REDACTED]				
支出内容	6月分手当 浅谷議員と2分の1ずつとする 円1,380 原本は浅谷議員の支出書No18に添付				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

6月分						
6月7日	14:00	16:00	2	2,000	760	
						2,760
支払者代表確認		浅谷 亜紀 				

領 収 証

No. \_\_\_\_\_

たからづか真政会  
支払者代表 浅谷 亜紀 様

令和3年6月30日

★¥2,760-

但6月分手当として

上記正に領収いたしました

内 訳	
税率	金額(税抜・税込)
%	消費税額等
税率	金額(税抜・税込)
%	消費税額等




D211R17

(会派名または議員名 大川 裕之)

政務活動費支出書

支出科目	人件費	内 訳	賃金	支出番号	5
支 出 日	令和3年7月31日		支出金額	1,380 円	
支 出 先	[REDACTED]				
支出内容	7月分手当 浅谷議員と2分の1ずつとする 円1,380 原本は浅谷議員の支出書No19に添付				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

7月分						
7月19日	14:00	16:00	2	2,000	760	
						2,760
支払者代表確認		浅谷 亜紀 				

領 収 証

No. \_\_\_\_\_

たからづか真政会  
支払者代表 浅谷 亜紀 様

令和3年7月31日

★¥2,760-

但7月分手当として

上記正に領収いたしました


内 訳	
税率	金額(税抜・税込)
%	消費税額等
税率	金額(税抜・税込)
%	消費税額等



(会派名または議員名 大川 裕之)

政務活動費支出書

支出科目	人件費	内 訳	賃金	支出番号	6
支 出 日	令和3年12月31日		支出金額	2,130 円	
支 出 先	[REDACTED]				
支出内容	12月分手当 浅谷議員と2分の1ずつとする 円2,130 原本は浅谷議員の支出書No20に添付				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

12月分						
12月13日	14:00	17:30	3.5	3,500	760	
						4,260
支払者代表確認		浅谷 亜紀 				

領 収 証

No. \_\_\_\_\_

たからづか真政会  
支払者代表 浅谷 亜紀 様

令和3年12月31日

★¥ 4,260-

但 12月分手当として

上記正に領収いたしました

内 訳

税率	金額(税抜・税込)
%	消費税額等
税率	金額(税抜・税込)
%	消費税額等



D211R17

(会派名または議員名 大川 裕之)

政務活動費支出書

支出科目	人件費	内 訳	賃金	支出番号	7
支 出 日	令和4年1月31日		支出金額	1,630 円	
支 出 先	[REDACTED]				
支出内容	1月分手当 浅谷議員と2分の1ずつとする 円1,630 原本は浅谷議員の支出書No21に添付				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

1月分						
1月31日	14:00	16:30	2.5	2,500	760	
						3,260
支払者代表確認		浅谷 亜紀 				

領 収 証

No. \_\_\_\_\_

たからづか真政会  
 支払者代表 浅谷 亜紀 様

令和4年 / 月 31日

★¥ 3,260-

但 1月分手当として

上記正に領収いたしました

内 訳	
税率	金額(税抜・税込)
%	消費税額等
税率	金額(税抜・税込)
%	消費税額等

